

石教研授業レポート 恵庭市 小学校第1学年 音楽科学習指導案

日 時 令和4年7月21日(木) 5校時

児 童 恵庭市立和光小学校

1年1組30名、1年2組29名

指導者 大谷 育(1組担任)

青木 都(2組担任)

1. 題材名 どれみとなかよし

2. 題材の目標

- ・曲想と音階の関わりに気づき、階名で表現する学習に興味をもって音楽活動を楽しむ。
- ・階名で模唱したり、暗唱したりする技能を身に付け、音階、旋律、変化などを聴き取り、曲想を感じ取って表現を工夫する。

3. 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・曲想や音階など音楽の構造との関わりに気づいている。・階名で模唱したり暗唱したりする技能や、高音を体などで表現する技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none">・旋律やその変化、音階を聞き取り、それらの働きが生み出す良さを感じ取りながら、聞き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	<ul style="list-style-type: none">・階名と高音との関わりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

4. 指導計画と評価計画 (4時間扱い)

	指導内容	観点別具体的評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
第1時	<ul style="list-style-type: none">○「どれみのうた」を聴き、音階が出てくることに気付く。○「どれみのうた」を歌いながら聴き、階名に親しむ。・歌詞を見ながら音階を意識して歌う。○「どれみのたいそう」をする。・手の位置を確かめながらたいそうする。・速さを変えたり、音ごとに分担したりして動きに慣れる。			<ul style="list-style-type: none">階名で表現したり、体などを動かしながら歌ったりする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。(行動の観察)

第2時	<p>○「どれみのうた」を体を動かしながら聴く。</p> <p>・音階に合わせて「どれみのたいそう」をしながら聴く。</p> <p>○「どれみのキャンディー」を歌う。</p> <p>・範唱を聴いて、曲の大まかな感じを捉える。</p>	<p>「どれみのうた」の曲想と音階など音楽の構造との関わりに気づいている。(行動の様子)</p>		
第3時	<p>○「どれみのキャンディー」の最後の部分に合わせて、「どれみのたいそう」をしながら歌う。</p> <p>○自分たちの「どれみのたいそう」をつくる。</p> <p>○「どれみのキャンディー」全体を体を動かしながら歌う。</p> <p>○次時はグループで体の動きを考えることを伝える。</p>	<p>高音を体などで表現する活動を通して、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付けている。(行動の観察、演奏の聴取)</p>		
第4時(本時)	<p>○「どれみのキャンディー」全体を体を動かしながら歌う。</p> <p>・前時につくった「どれみのたいそう」をしながら歌う。</p> <p>○曲に合った体の動きを工夫して歌う。</p> <p>・グループに分かれて体の動きを考える。</p> <p>○考えた動きに合わせてみんなて歌う。</p>		<p>「どれみのキャンディー」の音階、旋律、変化などを聞き取り、それらの動きが生み出すよさを感じ取りながら、聞き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。(演奏の聴取、行動の観察)</p>	

5. 教材名 「どれみのキャンディー」

6. 教材観

「どれみのキャンディー」は、4/4拍子でA(aa´)B(bc)の二部形式。Aでは ♪♪♪♪ ♪♪♪ のリズムフレーズが繰り返されており、言葉のリズムと一致にしている。歌ったり、踊ったり身体表現をすることで、階名に親しめるよう工夫されている。曲の前半と後半で曲想が変わるので、「どれみのたいそう」をする階名唱以外の箇所も、体を動かしながら自然にリズムを感じ、旋律(フレーズ)を意識して歌っていきたい。旋律(フレーズ)に合った身体表現の工夫をすることで知覚・感受を意識できると考える。

7. 共通事項との関わり

本教材では、共通事項の中から、ア「旋律、音階」とイ「変化」について、重点的に取り扱いたい。

8. 児童の実態

コロナ禍であるため、教室では、全員で歌唱をすることができない。4クラスあるが2クラスずつだと広場で歌唱や鍵盤ハーモニカの演奏をすることができる。そこで、4月から2クラスずつ音楽を行っている。

毎時間、「リズムを打ち」に取り組んできた。最初はきちんとリズムを打てなかった子が多かったが、だんだんと聴くことで、上手に「リズム打ち」ができるようになってきた。

習ってきた「かもつれっしゃ」や「わらべうた」「おちゃらか」「かたつむり」など、歌に合わせてみんなで身体表現をしたり、ゲームをしたり、リズムで遊んだりすることをとても喜び、意欲的に活動する子が多い。

9. 本時の目標

「どれみのキャンディー」の曲想を感じ取り、身体表現を工夫して歌うことができる。

10. 本時の展開

	学 習 内 容	教師の関わりと評価規準・具体的評価 ☆共通事項を知覚・感受するための手立て ※指導の留意点 △目標に到達していない児童への支援 □具体的評価規準【 】評価方法
導 入	1. リズム打ちでウォーミングアップ ・リズムカードを見ながら手拍子でリズム打ちする。 2. 前時のふり返り ・「どれみのキャンディー」を歌う。どれみふぁそらしどの部分は、前時に考えた体操をしながら歌う。 3. 課題を確認する。	☆曲に合わせて、前時につくったどれみのたいそうをしながら歌うことを確認する。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> ㊦ きよくにあったからだのうごきをグループでかんがえよう </div>	
展 開	4. 曲に合った歌い方や体の動き方をグループに分かれて考える。 ・1組→1番を2小節～4小節ずつ、6つのグループ ・2組→2番を2小節～4小節ずつ、6つのグループ 5. 考えた体の動きを発表する。 ・2グループずつ発表する。 6. 考えた体の動きに合わせてみんなで歌う。 ・互いに動きを見ながら、曲の最初から最後まで歌う。	☆前半部分と後半部分の曲の感じがちがうことを意識させる。 △歌詞からイメージする動きをアドバイスする。 □話し合いに参加し、進んで表現しようとしているか。【活動の様子】 ※拡大した教科書の楽譜を掲示する。 □曲想や歌詞からイメージしたことを、楽しく表現しようとしているか。【発表の様子】 ※動きが見えるように、一つの円になって歌う。
ま と め	7. 学習のまとめ ・授業の感想を発表し合う。	・他のグループのよさや、頑張りを認め合う。

11. 本時の評価

「どれみのキャンディー」の曲想を感じ取り、身体表現を工夫して歌うことができたか。

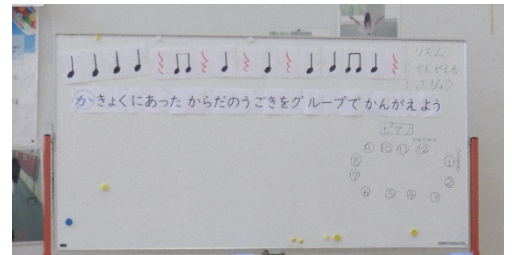
事後研究協議会より

《授業者から》

- ◇ 普段から体を動かしてリズム打ち・歌・鍵盤を授業で取り入れている。音楽を好きな子が多く、声も出ている。
- ◇ 前時の「ドレミのたいそう」をみんなで考えるのもスムーズにできていた。今回の活動は、初めて「グループで体の動きを考える」ことに挑戦し、どのくらい自分たちでできるのか不安もあったが、思ったよりも子ども達で相談して考えることができた。

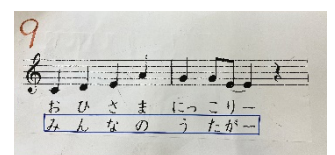
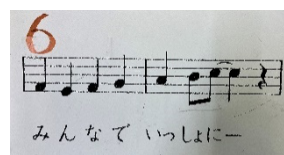


- ◇ みんなの動きがお互いに見てまねっこできるように輪になって発表した。
- ◇ 1曲をみんなで2小節ずつ分担して考え、それをつなげてみんなでつくり上げる方法にした。



《成果と課題》

- ◇ これまでの学習の積み上げがしっかりされており、リズムカードが出てくるとすぐに反応し、音符を見て上手にリズム打ちをすることができていた。
- ◇ リズムカードが少しずつ増えていくと、ますます注目してリズム打ちに集中し楽しんでいった。カードの出し方が工夫されていた。
- ◇ 前時に自分たちでつくった「どれみのたいそう」も楽しそうにできていた。
- ◇ 身体の動きを考える手立てとして、「ドレミのうた」の歌詞を例に挙げ、(ドはドーナツのド)の動きだとどうしたらいいかな?とみんなで考え、それぞれが体を動かし、先生もやって見せることで、次の活動につなげていた。
- ◇ もう少し動きのヒントカードなどあってもよかったかもしれない。例えば、大きな動き・小さな動き、横への動き・上下の動き、一人で・みんなでというような。
- ◇ 1グループに1枚ずつ渡した2小節のカードが相談するときにもとてもわかりやすくよかった。



- ◇ グループへの先生のアドバイスの後、実際に体を動かして相談するグループが増え、活発に話し合うことができていた。
- ◇ 前半部分と後半部分の曲の感じが違うことを、前時からもう少しおさえておけば、動き方にも反映されてよかったかもしれない。曲想の違いを感じてふりつけも変えられるとなおよいかも。



- ◇ 時間内にみんなで発表を見ながら、真似して動きながら歌うことができてよかった。円になって発表するやり方もとてもよかった。
- ◇ 最後のまとめで、他のグループの良さに気づき、認め合ったり、グループで考えることができたか振り返りをできたりしたのもよかった。時間配分ができていた。
- ◇ 「どれみのキャンディー」と「すずめがちゅん」がパートナーソングになっているようなので(指導書にある)、後日合わせてやってみるとさらに楽しめると思う。

